

## 施策評価調書(26年度実績)

政策体系	施策名	観光と地域づくりを一体とするツーリズムの推進	所管部局名	企画振興部	施策コード	Ⅱ-3-(1)
	政策名	ツーリズムの展開	関係部局名	企画振興部、生活環境部、教育庁	長期総合計画頁	101

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	地域資源の商品化	ツーリズム基盤の整備	九州新幹線全線開業など環境の変化に対応した新たな観光戦略の推進	アジアを中心とする海外からの観光客の誘致

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		26年度			27年度	目標達成度(%)						
		年度	基準値	目標値	実績	達成度	目標値	25	50	75	100	125		
i 県内宿泊客数(人泊/年)	①②③	H19	4,749,470	5,150,000	5,194,680	100.9%	5,200,000							
ii 外国人宿泊客数(人泊/年)	①②③④	H19	326,380	380,000	385,110	101.3%	390,000							
iii グリーンツーリズム宿泊数(人泊/年)	①②③	H19	11,188	22,500	23,416	104.1%	23,600							

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i 達成	国内外に向けた情報発信を強化し、ブランド力向上を図るとともに、おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーンに向けた様々な取組を官民一体となって進めるなど、大分県ツーリズム戦略の着実な推進に努めたことにより、目標を達成した。			達成
ii 達成	旅行先としての本県の知名度向上や旅行商品の造りが図られたことで、観光に加え、台湾やタイ、中国からの観光客数も増加し、目標を達成した。			
iii 達成	研修会の実施やガイドブックの作成により、地域の農山漁村ツーリズムの活動を支援することで、前年度実績を上回り目標を達成した。			

#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーンを契機に、県内各地の素晴らしい素材を全国に向けて売り込むため、市町村や地域観光協会、民間事業者とともに、素材の洗い出しや磨きに取り組んだ。 ・世界農業遺産や日本ジオパークの認定を生かしたモデルコース提案やモニターツアーの実施により、素材の周知に努めた。
②	・ボランティアガイド協議会への拡充に努め、25年度と同じ団体数及び会員数を保持した。 ・官民共同で策定した「大分県ツーリズム戦略」を着実に推進し、全国に向けて「おんせん県おおいた」の存在感をアピールした結果、「地域ブランド調査2014・都道府県魅力度ランキング」では、前年の31位から22位と大幅に上昇した。
③	・東九州自動車道の全線開通を踏まえ、宮崎県と連携した情報発信や誘客促進を図るとともに、広島県をターゲットしたPRイベントを行った。
④	・訪日旅人気や円安、ビザの発給要件緩和等により、本県を訪れる外国人観光客が増加している。県が強化して取り組んでいる、台湾やタイという新たなターゲットとした国・地域におけるプロモーションの効果が現れている。

#### 【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(26年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	27年度の方向性	
①	おおいたジオパーク推進事業	38,004	A	継続・見直し	64
②	ツーリズム戦略総合対策事業	138,365	A	継続・見直し	11
	地域の文化財魅力度アップ事業	21,548	A	継続・見直し	215
③	国内圏域別誘客促進事業	122,392	A	継続・見直し	13
	おんせん県デスティネーションキャンペーン推進事業	91,192	C	継続・見直し	12
④	海外誘客促進事業	68,661	A	継続・見直し	14

#### 【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」第2回活力部会（H26.10） ・ツーリズム戦略ができたことで、来年のDC誘致という目標を達成できた。情報発信もでき、これからは売り込みの段階。今後は2020年の東京オリンピックに向けて中期的なツーリズム戦略をやっていたきたい。	○「安心・活力・発展プラン2005」第1回発展部会（H26.7） ・大分が観光分野でアピールしていく上で、特に公共施設や観光施設におけるWi-Fi環境整備による利便性の向上が重要。
---	---

#### 【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おんせん県おおいた観光振興条例の制定を受け、「大分県ツーリズム戦略」の見直しを行い、戦略の着実な推進に努める。</li> <li>・国別、圏域別、目的別にターゲットを絞り込み、エージェントへのセールスや効果的な情報発信などに取り組む。</li> <li>・美術館や大分駅ビルのオープン、東九州自動車道開通、デスティネーションキャンペーンなどの機会を生かし、着実な誘客促進を図る。</li> <li>・外国人観光客の誘致においては、ラグビーワールドカップや東京五輪等を契機としたアジア・欧米への情報発信、対象国に応じた旅行商品造成、多言語対応やWi-Fi環境の整備など受入態勢の整備を行う。</li> </ul>